

ひとり親家庭支援プロジェクト ～作文コンクール「わたしの夢、ぼくの夢」～

[報告書]

衆参国会議員の有志で設立した「母と子支援議員連盟（会長・丹羽雄哉）」とひとり親家庭の母の就労支援を行う NPO 法人「あごら（理事長・和田勝）」が主導した「ひとり親家庭支援プロジェクト実行委員会」の主催による作文コンクール「わたしの夢、ぼくの夢」授賞式が、平成 29 年 11 月 4 日（土）、秋晴れのこどもの国皇太子記念館において、全国各地からの入賞者を迎え、無事行われたことをまずご報告いたします。

◆応募作品は 43 通でしたが、いずれも甲乙つけがたく、丹羽雄哉審査委員長ら審査委員は選考に苦労いたしました。

どの作文にもひとり親家庭の厳しい現実がにじみでていましたが、どの子ども、それを他人や社会のせいにする事なく、親やまわりの人々への感謝の気持ちがあり、母親を楽にしてあげたいという健気さが強く出ていました。

何より、自分で人生を切り開いていく力を持っていることに驚かされました。そして、それぞれが夢を叶えるために努力しているだけでなく、すべての子どもたちの夢をかなえられるようにと他者までも思いやって政策提言までしていました。

◆心の叫びを文章にまとめる能力のある子どもたちばかりではないでしょう。思いがどんなにあっても応募できなかった子どもたちもいるにちがいません。

そして、夢など持たってしかたないと既にあきらめてしまっている子どもたちもいます。

丹羽委員長が講評で述べられたように、こぼれ落ちる人たちを切り捨てないのが政治の役割です。

赤松良子実行委員長初め、私たちこの「作文コンクール」に関わった者たちは、応募してくれた子どもたちと、その背後にいる多くの子どもたちのために、彼らの心の叫びをしっかりと受けとめ、今後もこの作文コンクールを続け、政策提言を行っていく責務を子どもたちからもらったと思っています。

◆入賞者には賞状と賞金を、そして入賞しなかった応募者には図書券を礼状と共に送付いたしました。

入賞者には遠方から授賞式に参加する人が多かったため、交通費の補助も行いました。

◆当日は、丹羽雄哉（元衆議院議員/元厚生大臣/母と子支援議員連盟会長）、坂口力（元衆議院議員/元厚生労働大臣/母と子支援議員連盟副会長）、佐々木典夫（社会福祉法人こどもの国理事長）、和田勝（国際医療福祉大学客員教授/NPO あごら理事長）、円より子（元参議院議員/母と子支援議員連盟顧問）実行委員に、阿部彩（首都大学東京都市教養学部 人文・社会系教授）、萱野稔人（津田塾大学総合政策学部長・教授）審査委員が参加。

赤松良子実行委員長メッセージに続き、佐々木典夫こどもの国理事長の開会挨拶、そして小学生の部から順に丹羽雄哉審査委員長から表彰状と賞金が授与されました。

一人一人に円より子委員からインタビュー。優秀作品の朗読、審査委員からの講評のあと、坂口力委員の「ぜひ、このコンクールを続けたい」という決意表明、和田勝委員の閉会挨拶がありました。

◆何か月にも渡って、無償で縁の下で汗をかいてくれたスタッフの皆さんや協力して下さった方々のおかげで、こうして作文コンクールが実施できました。

厚生労働省、こどもの国、母と子支援議員には後援としてご協力をいただきました。

株式会社東武鉄道（東武動物公園入場券）、ロイヤルホールディングス株式会社（ロイヤルホスト食事券）からは協賛いただき、副賞として利用させていただきました。

こどもの国からは無料入場券をいただきました。当日の会場設営などを担っていただきました。

事務局として、東京都ビジネスビス(株)、Golden AD Works、特定非営利活動法人あごらの皆様には、多大なるご協力をいただきました。

感謝の念をもって報告させていただきます。作文集を添付しております。ご覧くだされば幸いです。

平成 29 年 11 月吉日

ひとり親家庭支援プロジェクト実行委員会

事務局

〒102-0084

東京都千代田区二番町 1-2 番町ハイム 814

NPO 法人あごら内

Tel 03-6256-9023

Email info@hitorioyakatei-shien.com



平成 29 年 11 月 4 日 こどもの国にて

ひとり親家庭支援プロジェクト

～作文コンクール「わたしの夢、ぼくの夢」～